

年 組 名前：



ごはんマスター 全国初の小学生

三井さん(山梨大付小) 好きが高じて受講

甲府市の山梨大付属小6年の三井桜花さん(12)「同市」は、小学生として全国で初めての「ごはんマスター」に認定された。業界団体が開く講座でコメやご飯に関する知識を深めた人が認定されるもので、大のこ飯好きが高じて受講。「コメ作りの大変さが分かった。勉強したおいしい食べ方を実践してみたい」と話している。



大悟 杉原みずき

「おいしい食べ方実践したい」

「ごはんマスター」は、日本米穀商連合会(日米連)が今年から始めた認定制度。米穀事業者を対象にした「お米マスター」のツ星に相当し、所定の講座を修了すると認定される。日米連によると、9月時点で全国で889人が認定されていて、小学生は三井さんのみで最年少。

三井さんは「白米が好き」で、今年の誕生日にはふんわりとしたおにぎりが自動的に作れるおもちゃを買ってもらったほど。講座は母美穂さん(53)に誘われ、8月に東京都内で受講。コメ作りの流れやコメの品種、保管や調理法などを学んだ。

講座では「品種登録されているコメの種類が多くて驚いた」と振り返る。コメ作りでは、種もみの選別や病害虫予防といった作業も重要と知り、「やるのがすごく多くて、休む時間がなさそうだと思った」。コメの保管方法や洗米の注意点なども勉強し、コメを水に浸す時間などが印象的だったという。

講座で学んだ内容は、夏休みの自由研究としてまとめた。三井さんは「お米は心と体 環境なびに優しく、日本には欠かせない『田から物(宝物)』と分かった」と話している。

「ごはんマスター」に認定された三井桜花さん
「甲府市内」

(2024年10月22日付 山梨日日新聞17面)

問1 甲府市の三井桜花さんは、小学生として全国で初めて、取得した資格を教えてください。

.....

問2 三井さんが、この資格を取ろうと思った理由を教えてください。

.....

問3 東京で行われた講座では、何を学びましたか。

.....